

# 長期的な投資魅力の高まる 米国ハイ・イールド債券

## ポイント① 足元の調整でスプレッドが拡大

2015年6月以降、中国の景気減速懸念や、それに伴う資源価格下落などを受け、米国ハイ・イールド債券は軟調な推移が続いてきました。こうした中、米国ハイ・イールド債券の利回りは2012年6月以来、3年4ヵ月ぶりに、8%台まで上昇（価格は下落）しました。図1からは、足元の利回り上昇は、スプレッドの拡大によるものであることがわかります。

## ポイント② 長期的に見て魅力的なスプレッド水準

足元のスプレッド拡大は、主にエネルギー、資源セクターに起因するデフォルト率上昇の可能性を織り込んでいっていると考えられます。

しかし、それらのセクターを除けば、健全なファンダメンタルズと、緩やかな景気回復の恩恵を背景に、デフォルト率の上昇は限定的となることが期待されます。米国ハイ・イールド債券の発行企業の約3分の2は、米国の景気回復の恩恵を受けやすい内需企業であり、年初来のパフォーマンスも概ね安定しています。さらに、小売りや銀行などのセクターでは、原油安の恩恵も期待されます。

また、エネルギー、資源セクターの中には破たんリスクを織り込んだ水準まで売られている債券もありますが、今後、原油や資源価格が安定すれば、同セクターのスプレッドも大きく縮小すると思われます。長期投資の視点に立てば、現在のスプレッドの水準は魅力的と考えられます。

## ポイント③ 需給面から見直しが進む可能性

今後は、需給の面からも米国ハイ・イールド債券の見直しが進む可能性があります。ハイ・イールド債券の発行企業は、低金利環境下で、積極的に新規発行を行ない、借り換えによって資金調達コストの押し下げや、債務の長期化による財務改善を図ってきました。今後は、緩やかに金利が上昇していくと見られる中、新規発行によるハイ・イールド債券の供給は減少していくと考えられます。一方で、米国ハイ・イールド債券は、米国の保険や年金基金などの長期投資家の間で存在感を増しており、引き続き、需要を集めると考えられます。足元の環境は、こうした長期投資家にとって、割安な投資機会を提供していると考えられます。

図1：米国ハイ・イールド債券の推移

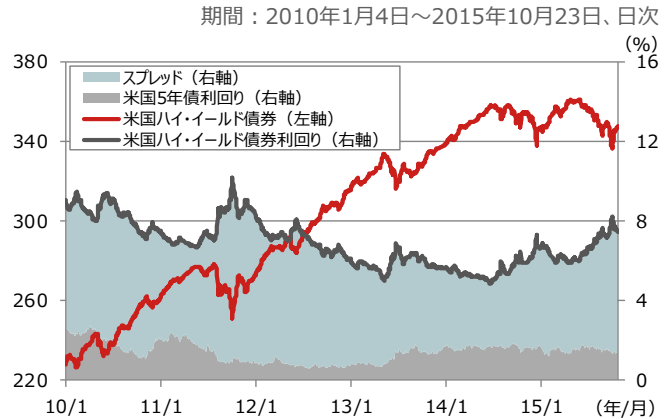


図2：米国ハイ・イールド債券のスプレッドとデフォルト率

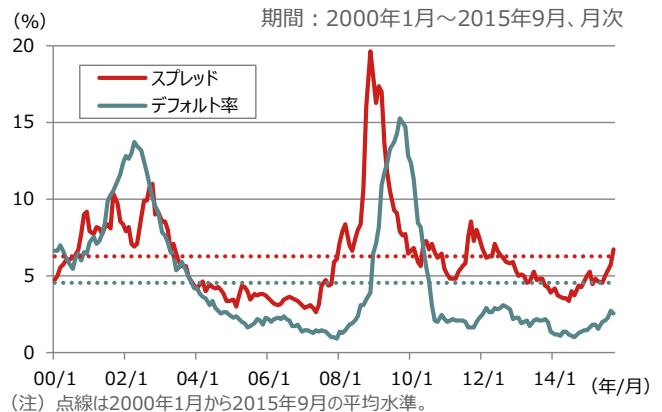
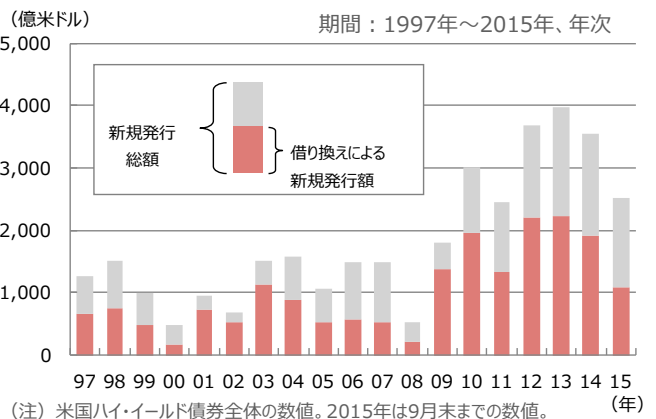


図3：米国ハイ・イールド債券の新規発行額の推移



(出所) プルムバーク、JPモルガンのデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。